

コラム① 上田市の放射線測定

東日本大震災に続く福島第一原子力発電所の事故により、大量の放射性物質が大気中に放出され、大きな不安が広がっています。市民の皆さんが安全な暮らしをするためには、放射線についての正確な情報を把握し理解することが大切です。

日常生活の中で関係する上田市の放射線量の測定について、ここにまとめます。なお、測定の結果については上田市のホームページ上で公表しています。

・空間放射線量

上田市では、市域全体の放射線の環境測定を行うため、右図のように市内を10キロメートル四方のメッシュに区切り、市民の皆さんの認知度や人口密度などを考慮して8箇所の観測地点（美ヶ原市営第一駐車場は、冬の閉鎖期間を除く）を選定し、継続して定期的な空間放射線量の測定を行っています。

長野県では、福島第一原子力発電所の事故以前は、長野市内の1地点のみで空間放射線測定が行われていました。上田市では、現在は常時監視を行うことにより、基礎データを集積するとともに、今後放射線に関係する事態が発生した際にも迅速な対応ができる態勢を整えています。



・上田市内の施設における放射線測定



[測定風景]

これまでに、366施設の1,125地点で測定を行いました。

上田市では市民の皆様が利用するすべての施設で放射線測定を実施することとし、保育園・小学校・中学校・公園をはじめ上田市が管理する施設及び私立幼稚園等の児童施設で、放射線測定を実施しています。



[測定に用いる
シンチレーションサーベイメーター]